

レジメン名

CPT-11

出典 カンプト適正使用ガイド
J Clin Oncol 1992;10:1225-1229.

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

小細胞肺がん
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

WBC	2000/mm ³ 未満		
その他	上記基準または下痢が認められた場合、回復を確認後、次回投与時20-25%減量にて再開。		

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満※
その他	※適正使用ガイドでは10万/mm ³ だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録		

1コース期間 28日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
イリノテカン	100mg/m ²	輸液250mL	90分	day1、8、15

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)

day1、8、15

①デキサート6.6mg+グラニセトロン3mg/バッグ (15分)

②イリノテカン100mg/m²+輸液250mL (90分)

③生食50mL(フラッシュ用)

<内服>
day1、8、15から4日間
ウルソデオキシコール酸(100)3錠 分3毎食後
炭酸水素ナトリウム 1.8g 分3毎食後
(遅発性下痢の予防目的)